

エコアクション 21

環境経営レポート

2019年版

(活動期間：2019年1月~12月)



発行日 2020年4月1日

ご挨拶

近年、地球規模での温暖化が深刻化しております、世界各地で異常気象や海面の上昇など、様々な自然災害がもたらされており、環境問題に対する関心が高まっております。私どもの地域でも台風被害により事業活動が一時的に停止することもあり、改めて環境問題を直視し、積極的な取組みを進めなければならないという考えでおります。

私どもは事業活動を営む上で、環境負荷物質使用量の削減や、省資源、廃棄物排出量削減など、エコアクション21を運用し、「環境経営方針」のもと組織的な活動を展開しております。

持続的な社会の発展を願いつつ、私ども自身も安定的に成長を続けていくためには、お客様にご満足いただける製品をご提供し、今後も環境との調和を考え、環境保全のための継続的な活動を展開していくことが重要な責務であると考えております。

私どもは、地域の皆様に愛され親しまれる企業を目指してまいり所存です。

代表取締役 大高 明

CONTENTS

ご挨拶	p. 1
1. 組織の概要	p. 2
2. 環境管理体制と責務	p. 5
3. 環境経営方針	p. 6
4. 事業活動による環境影響の把握	p. 7
5. 環境経営目標	p. 9
6. 2019年の取組み実績・評価一覧	p. 10
7. 取組み内容とその評価	p. 11
8. 活動報告	p. 17
9. 2020年の取組み	p. 22
10. 環境関連法規制等の遵守状況	p. 23
11. 内部・外部コミュニケーション	p. 24
12. 取組みの成果	p. 24
13. 代表者による全体評価と見直し・指示	p. 25
私たちの誓い	p. 26



新都田工場では太陽光発電装置4.59kWを2014年1月に設置しました。発電量は全量を売電していますが、太陽光はエネルギーを生成する場合、二酸化炭素や窒素化合物などの有害物質を発生させないため、地球環境保護に貢献している活動となります。

2019年実績 年間発電量: 52,408kWh
年間温室効果ガス削減量: 23.6 t-CO₂

スギの木約1,690本の
二酸化炭素吸収量に相当



太陽光発電システム単位発電電力あたりのCO₂排出量450.5g-CO₂/kWh

スギの木一本あたりの年間二酸化炭素吸収量
14kg程度(*1)に換算 *1出典林野庁

1. 組織の概要



1. 事業者名・代表者名

杉山メディアサポート株式会社
代表取締役 大高 明

2004年11月26日認証登録

2. 事業所所在地・連絡先

丸塚営業本部 : 〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町196-1
TEL053-467-6000
新都田工場 : 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目10番2号
TEL053-484-1171
静岡営業所 : 〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号
TEL053-267-3001
東京営業所 : 〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-8-8 目黒F2ビル 2階
TEL03-6412-7661
※2019年4月移転

【HP】 <http://www.sugiyama-ms.co.jp/>

3. 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

環境管理責任者: 新都田工場長 清水 亨
EA21事務局: 曾我 晴美
TEL 053-484-1171
FAX 053-484-1170

4. 設立

1948年4月

5. 資本金

5,600万円

6. 事業年度

2019年2月 ~ 2020年1月
環境活動期間: 2019年1月~12月

MAP



①丸塚営業本部
営業部・総務部・オフライン工場
【工業地域】



②緑豊かな街 浜松市北区に
位置する新都田工場
【工業専用地域】



③静岡営業所
(株)静岡メディアサポート様2階



④東京営業所
2019年4月に移転しました



東京都目黒区

7. 事業の内容

- ・印刷、製本業 ・商業、工業デザイン企画設計 ・各種写真の撮影
- ・情報の収集、処理、加工、提供サービス ・看板の設計、製作

8. 事業の規模(環境活動期間実績)

総売上高 : 2,477百万円
従業員数 : 153名
延床総面積 : 7,924㎡

9. 認証・登録の対象組織活動

対象事業所 : 全事業所
丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所、東京営業所

10. 認証登録番号

0000047

11. 認証・登録日

2004年11月26日

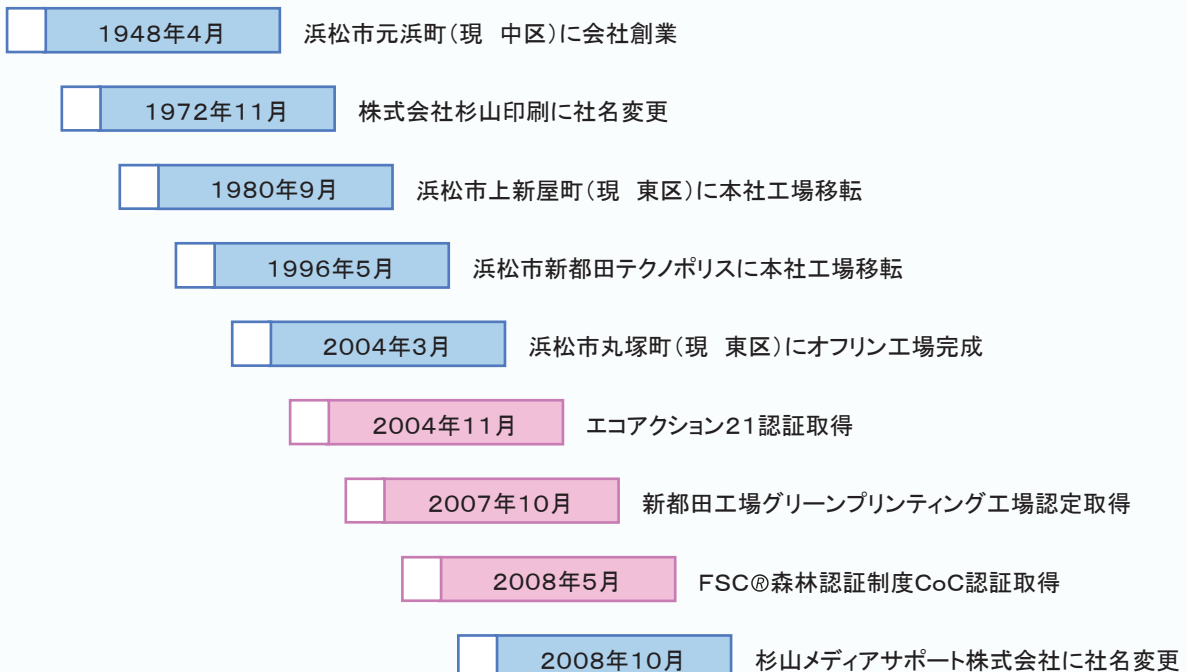
12. 対象の活動

総合印刷業(企画・立案から印刷、加工、出荷、在庫管理まで)、
情報サービス加工業(DTP、データベース構築、
WEBホームページ制作等) 等



当社は2003年より環境活動評価プログラム「エコアクション21」パイロット事業に参加し、環境への取組みを始めました。環境への取組みを事業所全体で自主的、積極的に取り組むことを目的としていましたが、当時は従業員の理解がなかなか得られず、まずは所属長から理解を深めることから始めました。それから従業員への環境へ取組みに対する教育訓練を実施し、2004年11月認証登録することができました。

【沿革】





杉山メディアサポートの主な取扱い商品を紹介します。
 カタログ、リーフレット、チラシ、マニュアル、取扱説明書、帳票類、社内報、CSR報告書、
 カレンダー、ダイレクトメールなどを
 時代の一步先行くアイデアとソリューションで、お客さまのあらゆるニーズに全力で応えています。

【オフラインメディア (印刷媒体)】



杉山メディアサポートは紙媒体などのオフラインメディアから、情報のスピードと鮮度が求められる今の時代に、お客さまが伝えたい情報をより早く、よりの確に、より多くの人に伝えるためのお手伝いとしてクロスメディアにも力を入れています。
 そのため2008年に社名を「杉山印刷」から「杉山メディアサポート」に変更しました。



【オンラインメディア (Web)】

クロスメディア インターネット広告




Webサイト制作 デジタルサイネージ 動画制作・映像制作



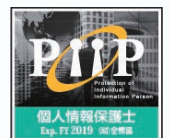


販促グッズ・ノベルティ 封入・封緘・宛名印字 発送サービス ポスティングサービス






杉山メディアサポートはプライバシーマーク認定企業です。
 お客さまの大切な個人情報を安全かつ厳重に取り扱います。

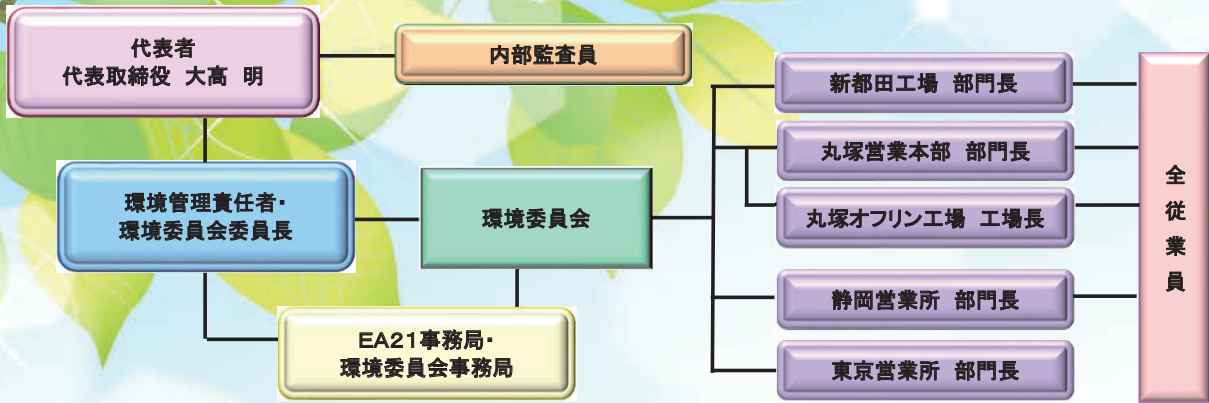


プライバシーマーク認定制度 2010年12月取得

上級個人情報保護士1名

個人情報保護士4名

2. 環境管理体制と責務



担当者	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境管理責任者の任命 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営目標、環境経営計画書、環境教育訓練計画書の承認 代表者による全体の評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認 内部監査員の任命
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境委員会の委員長 環境部門長の任命 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」結果取りまとめと報告 「環境関連法規等一覧表」の承認 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の確認 一般研修(部門長)や法規制等の教育訓練の実施 環境経営活動の取組み結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」の実施 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の策定 環境経営目標、環境経営計画、環境教育訓練に対する実績取りまとめと記録 「環境関連法規等一覧表」の作成及び最新版管理、遵守評価の実施 環境経営方針、環境経営目標達成のための手順を定め文書化 従業員に対する教育訓練の実施 環境関連の内外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、情報提供(事務所内掲示と地域事務局への送付) 環境活動通信作成、情報提供(事務所内掲示) 毎月末「EA21巡回」を実施
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境委員会の開催 環境経営システムに則り、運営における問題点等の報告と対策を協議する 環境保全活動の推進 事故および緊急事態への試行・訓練の実施と記録作成 定期的な巡回と指導
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営目標の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見と是正及び予防処置の実施 毎月末「環境活動取組み状況」のチェックの実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 内部環境監査の実施と報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

毎月第3木曜日に開催している環境委員会では、EA21事務局より「環境経営システム」運営における問題点や環境負荷物質使用量、環境関連法改正、環境問題などの報告と工場内での対策等を協議しています。



環境委員会

環境経営方針

◆◆ 基本方針 ◆◆

杉山メディアサポート株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、企業経営を推進してまいります。

◆◆ 行動指針 ◆◆

地球温暖化の防止・循環型社会の構築・生物多様性の保全など、持続可能な社会の実現に向けての環境問題に対する活動を印刷業という本業を通して、限りある資源の有効活用、廃棄物の削減及び環境汚染の防止などの環境活動を自主的・積極的に取組みます。

健全な職場環境を維持し、よりよい商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが重要だと考え、ここに「環境経営方針」を定め、従業員一丸となり継続的に環境活動に取り組んでまいります。

1. 全従業員による活動

環境委員会を中心とする体制を構築し、各自の役割と責任を定め全従業員による活動とします。

2. 目標の設定と継続的な取組み

環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期見直しにより環境保全の継続的改善を図ります。

3. 環境配慮型製品のサービス推進

環境に配慮した資材を使用しての製品づくりを顧客に提案・推進し、顧客の環境保全活動の支援に努めます。
FSC®認証製品を推進し、顧客の受注拡大に努めます。

4. 環境に配慮した企業活動の取組み

環境影響が小さく、顧客に満足いただける安全で品質の高い商品・サービスを『One Stop. Total Support』で提供します。

5. エネルギーに対する取組み

投入エネルギーを削減し二酸化炭素排出量を削減します。

6. 廃棄物に対する取組み

省資源を重視した製品づくりと、資源の有効活用を促進するためリサイクル活動を推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。

7. 環境関連法令等に遵守

事業活動にかかる環境関連の法規制を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持します。

8. 有害物質に対する取組み

使用する有機溶剤等は環境負荷と健康障害の少ない物を選択し、使用量の削減と適正管理に努めます。

9. 従業員による環境への取組み

全従業員に対して環境教育訓練等を実施し、環境に対する意識を向上させ行動させます。地域活動や社会貢献活動に積極的に取組みます。

10 環境活動に関する情報の提供

全従業員に対し環境経営方針を周知するほか、ホームページ等を通じて当社の環境への取組みを地域社会に情報提供します。

2003年9月1日 制定

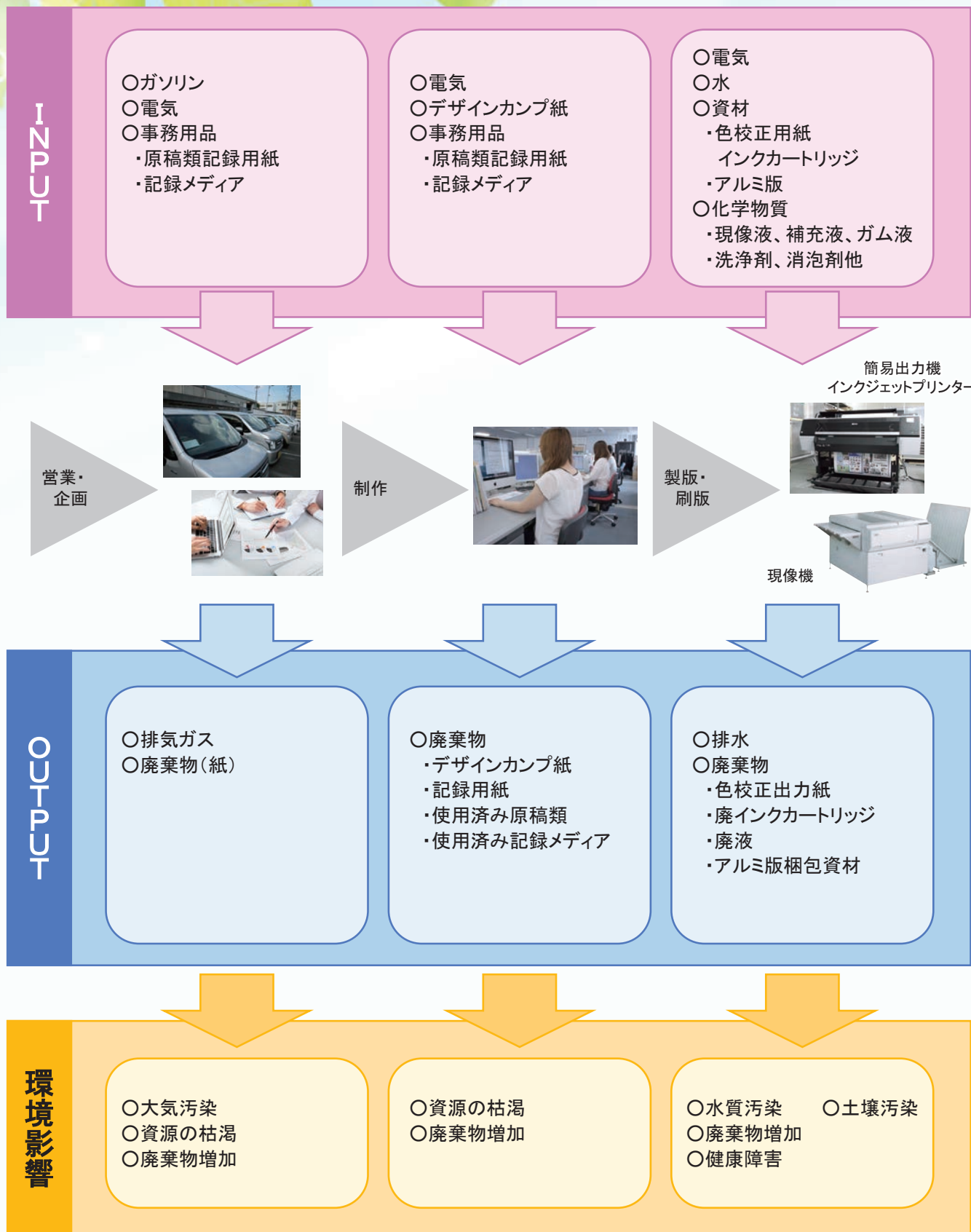
2018年1月7日 改定

杉山メディアサポート株式会社
代表取締役 大高 明

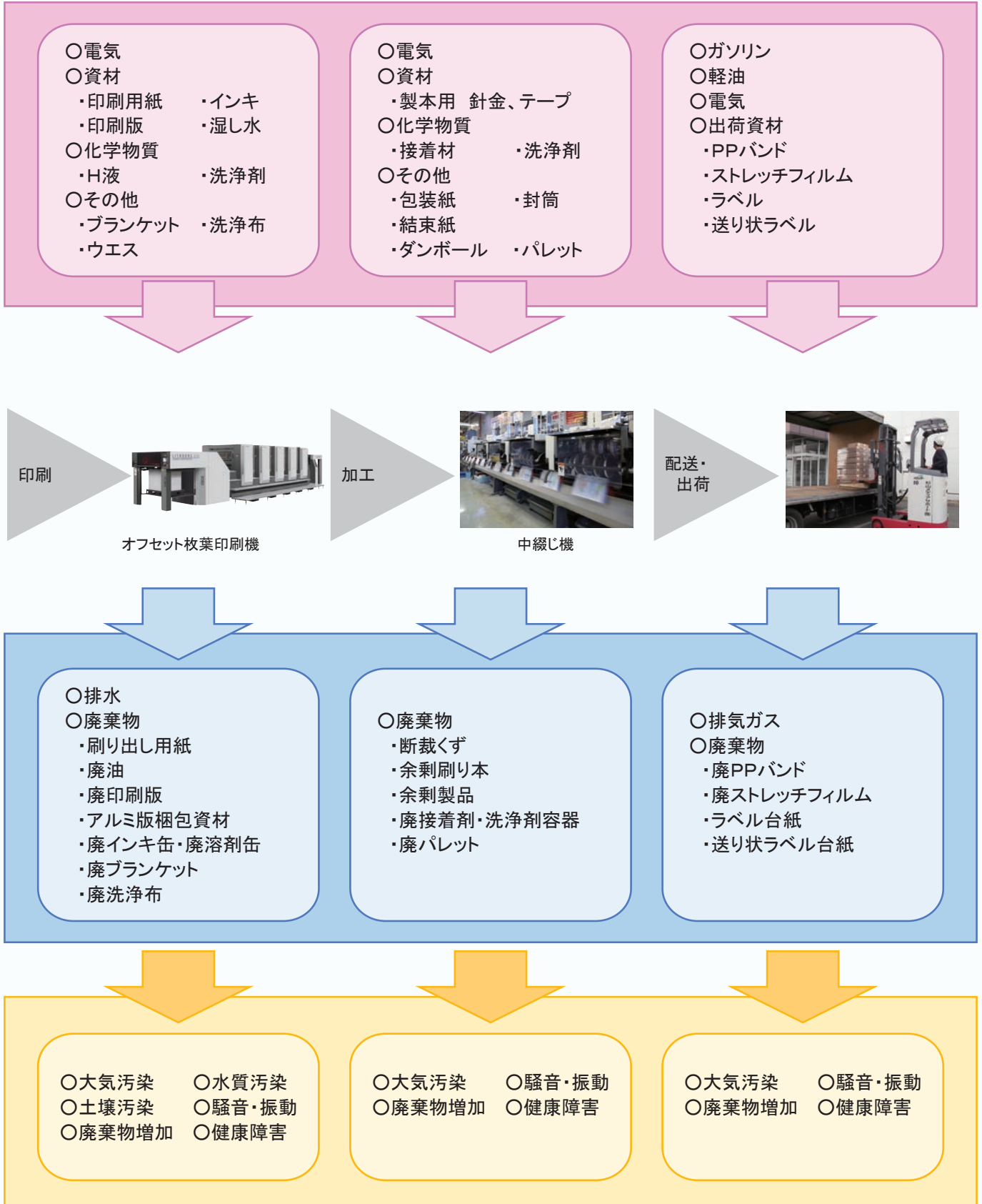
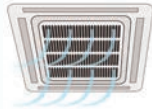
4. 事業活動による環境影響の把握



杉山メディアサポートの各工程での事業活動にともなう環境への影響は
どうなっているのか、印刷媒体の場合で確認してみました。



どの工程でも投入物質として電気を使っていることや、廃棄物を排出していることがわかります。だから、電気の使用量を抑え、廃棄物排出量を少なくすることが環境への取り組みで重要な課題となるわけです。



5. 環境経営目標

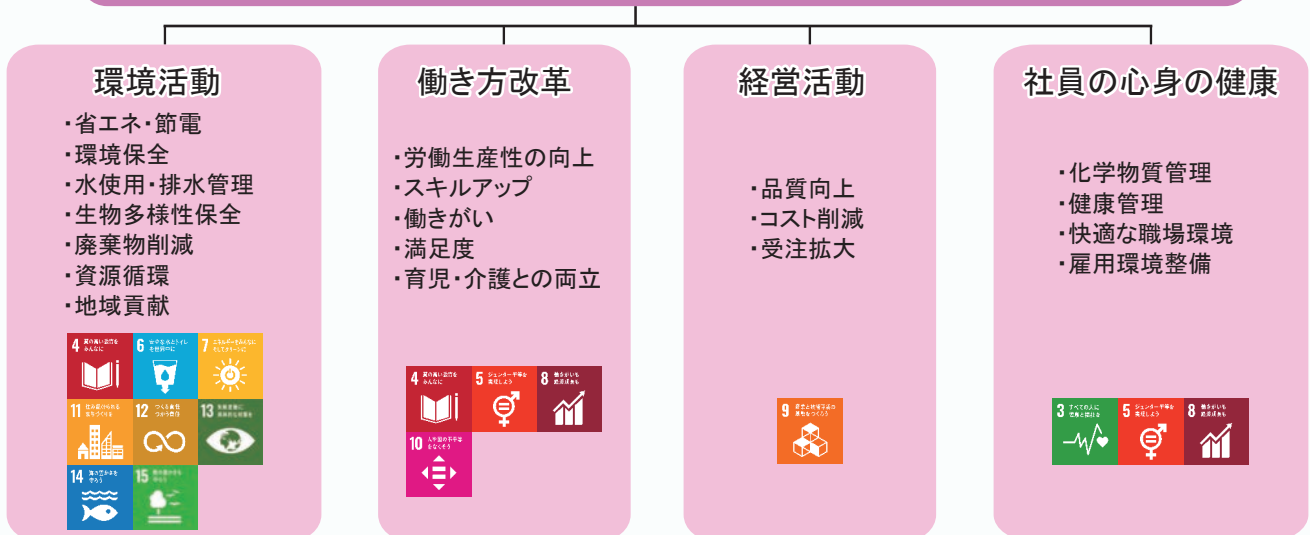
【環境経営目標とSDGs目標との相関】

環境経営目標項目		単位	2018年実績 (基準年)	2019年目標		中長期目標 (2023年まで)		SDGs目標		
低炭素社会の 実行	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	1,501,713	1%削減	1,486,696	9%削減	1,366,559	  		
		原単位	3.65	1%削減	3.61	5%削減	3.47			
	省エネルギーの 推進	電力使用量	kWh	2,232,444	5%削減	2,120,823	9%削減		2,031,524	
			原単位	5.43	1%削減	5.37	5%削減		5.16	
		LPG使用量	m3	16,067	5%削減	15,263	9%削減		14,621	
			原単位	0.059	1%削減	0.058	5%削減		0.056	
		都市ガス使用量	m3	151,579	5%削減	143,999	9%削減		137,937	
			原単位	1.10	1%削減	1.08	5%削減		1.05	
	ガソリン使用量	L	24,536	3%削減	23,800	7%削減	22,818			
		原単位	82.61	3%削減	80.13	7%削減	76.83			
軽油使用量	L	11,828	3%削減	11,473	7%削減	11,000				
	原単位	197.14	3%削減	191.22	7%削減	183.34				
省資源	有効利用の 資源	上水使用量	m3	2,271	2%削減	2,227	6%削減	2,135		
			原単位	1.11	2%削減	1.09	6%削減	1.04		
			紙使用量	枚	1,174,068	2%削減	1,150,586	6%削減	1,103,624	
環境配慮 製品への 配慮	サービスの 推進	環境配慮型製品製造量	kg	7,049	13%増加	7,965	17%増加	8,247	 	
		FSC認証製品受注件数	件	27	12%増加	30	20%増加	32		
物質削減 環境汚染	適化学物質 管理	化学物質使用量	kg	22,294.94	3%削減	21,849.04	6%削減	20,957.24	 	
			原単位	0.241	2%削減	0.239	5%削減	0.229		
			総使用量に対する PRTR法第一種含有率	%	1.188	0.01%低下	1.178	0.05%低下	1.148	 
循環型社会の 形成	リサイクルの 推進・ 廃棄物削減	廃棄物排出量	t	1,237.83	5%削減	1,175.94	9%削減	1,126.43	  	
			原単位	3.01	2%削減	2.95	6%削減	2.83		
		有価物排出量	t	1,215.59	0.5%増加	1,221.67	0.9%増加	1,226.53		
			再資源化率	%	98.2	0.5%向上	98.7	0.9%向上	99.1	

【杉山メディアサポートとSDGsとの関わり】

2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標の17のゴールのうち、13のゴールを達成できるように努めます。

環境経営を実行していく上での課題とそれに関連するSDGs目標



6. 2019年の取組み実績・評価一覧

目標評価基準 / 達成:100%以上 🟢 ほぼ達成:95%以上100%未満 🟡 未達成:95%未満 🟠

環境経営目標項目			単位	2019年			
				目標	実績	目標評価	主な取組み内容
低炭素社会の実行	二酸化炭素総排出量		kg-CO2	1,486,696	1,280,513	🟡	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
			原単位	3.61	3.91	🟡	
	省エネルギーの推進	電力使用量	kWh	2,120,823	1,929,481	🟡	・未使用フロアの消灯、昼休みの消灯 ・こまめに消灯・空調機フィルター清掃 ・デマンド監視装置によるピークカット
			原単位	5.37	5.90	🟡	
		LPG使用量	m3	15,263	10,017	🟡	・空調温度の適正設定(冷房27℃、暖房20℃) ・空調機フィルター清掃
			原単位	0.0580,049	0.049	🟡	
		都市ガス使用量	m3	143,999	133,335	🟡	・印刷乾燥機の断熱強化 ・印刷乾燥機の点検・整備
			原単位	1.08	1.08	🟡	
	ガソリン使用量	L	23,800	21,347	🟡	・エコカーへの転換 ・エコドライブ10の実践 ・走行距離数と燃料使用量の自己申告実施 ・運転日報活用による効率運転実施 ・車両整備による燃費向上 ・Web会議(毎週月曜日)実施	
		原単位	80.13	81.79	🟡		
軽油使用量	L	11,473	10,675	🟡			
	原単位	191.22	177.91	🟡			
省資源	有効利用の資源	上水使用量	m3	2,227	2,008	🟡	・湿し水循環ろ過装置活用による湿し水交換回数の削減 ・手洗い時の節水啓発表示
			原単位	1.09	1.06	🟡	
		紙使用量	枚	1,150,586	1,047,102	🟡	・2面付や縮小機能を活用したコピー・出力 ・ミスコピー防止のためコピー機使用後は設定リセット機能を活用
製品への配慮	サードパーティの推進	環境配慮型製品製造量	kg	7,965	11,055	🟡	・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールを作成
		FSC認証製品受注件数	件	30	31	🟡	
環境汚染削減	適化学物質管理	化学物質使用量	kg	21,849.04	20,832.01	🟡	・化学物質使用時の周辺環境への配慮 ・健康障害防止のため安全性が高い物への代替 ・サンプルとSDS取り寄せ
			原単位	0.239	0.249	🟡	
		総使用量に対するPRTR法第一種含有率	%	1.178	1.644	🟠	・化学物質リスクアセスメント実施
循環型社会の形成	リサイクル物の削減・推進	廃棄物排出量	t	1,175.94	994.56	🟡	・余剰製品を作らないため最低製品数を製造 印刷用紙発注時の枚数削減 ・廃棄物の分別徹底 ・紙くずの細分別化 ・産業廃棄物の委託基準と保管基準の遵守 ・電子マニフェスト制度利用による処理状況の確認
			原単位	2.95	3.04	🟡	
		有価物排出量	t	1,221.67	970.79	🟡	
		再資源化率	%	98.7	97.6	🟡	

2016年二酸化炭素排出係数

丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所 / サーラeエナジー:0.442kg-CO2
 新都田工場駐車場 / 中部電力:0.48kg-CO2
 東京営業所 / 東京電力:0.47kg-CO2

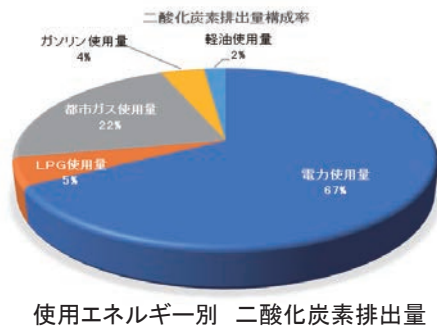
サステナビリティ

従業員の取組み項目			目標	実績	評価	取組み内容・期待される成果
地域活動・社会貢献活動	美化活動	会社周辺清掃活動	12回/年	13回実施	🟡	・会社周辺ごみ拾い ・歩道の草取り
		地域清掃活動	3回/年	3回参加 参加者16名	🟡	・静岡県「小さな親切」運動清掃活動参加 ・浜松河川園道事務所「クリーン作戦」参加
	地域交通安全活動	交通安全啓発活動	2回/年	春・秋全国交通安全週間参加 浜松市交通事故撲滅街頭指導参加	🟡	・会社周辺交差点での事故撲滅活動 ・従業員の交通安全に対する意識向上
	リサイクル・環境保護	エコキャップ回収運動	年間	11.7人分ポリオワクチン 73.9kg-CO2削減	🟡	・従業員の環境保護とリサイクルに対する意識向上 ・ポリオワクチン支援 ・焼却による二酸化炭素排出量削減
		割り箸リサイクル活動	年間	7.5kg回収	🟡	・従業員の環境保護とリサイクルに対する意識向上
		トイレトーパーパー芯リサイクル活動	年間	9.0kg回収	🟡	・従業員の環境保護とリサイクルに対する意識向上

7. 取組み内容とその評価

1. 低炭素社会の実行

【二酸化炭素排出量】



■取組み内容

負荷物質量が最も多い電力使用量を抑える
生産効率を意識した作業の実施

■評価

電力と都市ガスの使用量は製造に係るものであるため、生産高(印刷通し枚数)に大きく影響されるものではありませんが、生産効率を高めるほか、従業員による節電対策も重要だと考えられます。二酸化炭素排出量経年推移表でも確認できますが年々減少傾向にあるため次年度も継続的な取組みが必要です。

■次年度の取組み

継続

【電力使用量】

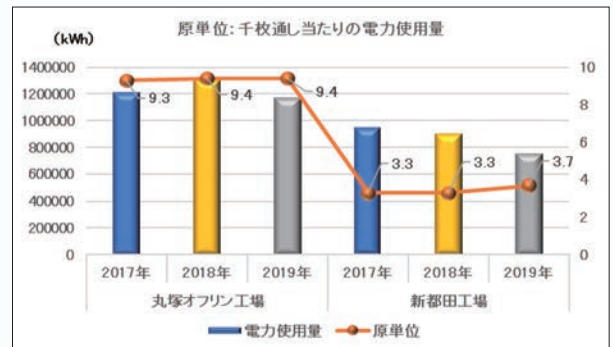
使用用途 : 生産設備、照明器具、OA機器、空調機

使用量目標 : 2,120,823kWh

実績 : 1,929,481kWh

原単位目標 : 5.37

実績 : 5.90



節電啓発表示



空調設定温度啓発表示とフィルター清掃
フィルター清掃の確認は、月末パトロールで実施



人がいない箇所はキャノピースイッチで
蛍光灯を消している

■取組み内容

未使用フロアの消灯・昼休みの消灯、こまめに消灯
デマンド監視装置によるピークカット
空調機フィルター清掃

■評価

電力使用量は減少していますが、工場別の原単位で確認してみると、新都田工場は前年比112%となってしまいました。印刷工程では、色合わせの刷り出しを数回行ったあとに本刷りに入ります。この刷り出しは数十枚を印刷したり、止めることを繰り返し行うため、電力に負荷がかかります。本刷りの枚数が5千枚であっても5万枚でも、この刷り出しは実施するため、電力使用量が通し枚数に関係してきます。今後の取組みとしては、少しでもこの刷り出し枚数と回数を減らす技術力アップが期待されます。また、照明器具はLED化が進んでいないため、非常灯から取替えを実施していきたいと思えます。電気空調機のフィルター清掃は、週1回実施を徹底している部署と、月1回を目安として実施している部署がありました。事務所では比較的清掃時間を取れるため仕方ないのかもしれませんが、工場現場でも必ず月1回は実施するよう指導していきます。また、従業員一人ひとりの意識を高め、こまめな消灯の実践に期待していきたいものです。活動期間中に従業員からの提案により、照明配置図を表示しました。これにより、必要箇所に必要なだけ電気をつけることができました。

■次年度の取組み

継続
作業予定の組み方を工夫して生産効率を上げる

【LPG使用量】

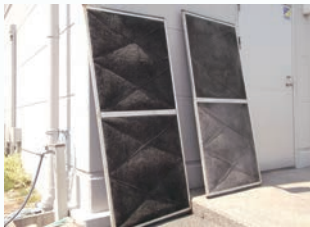
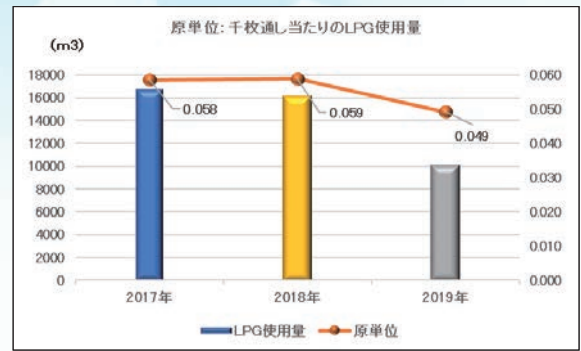
使用用途 : 新都田工場 空調機

使用量目標 : 15,263m³

実績 : 10,017m³

原単位目標 : 0.058

実績 : 0.049



空調機フィルター清掃



空調設定温度の啓発表示



高効率ガスヒートポンプエアコン
2018年1月導入

■取組み内容

空調温度の適正設定(冷房27℃、暖房20℃)

空調機フィルター清掃

■評価

オフセット印刷では刷り本のブロッキング(裏移り)防止パウダーを使用しています。このパウダーの成分は植物性澱粉ですがμ粒子と大変小さいため、工場内に舞い上がり空調機の吸入口に入りやすく、空調機のフィルターの目詰まりを起してしまいます。そのため、週1回のフィルター清掃を実施するように指導しました。印刷現場では、温度25℃と湿度50%の維持のため空調機を利用して管理しています。ビジネスフォーム印刷課で使用していた空調機2台を高効率化したことで使用量が激減しました。新都田工場内では経年劣化した空調機がまだ数台あるため、10年計画で入替をしていきます。

■次年度の取組み

継続

【都市ガス使用量】

使用用途 : 丸塚オフリン工場 印刷乾燥機

使用量目標 : 143,999m³

実績 : 133,335m³

原単位目標 : 1.08

実績 : 1.08



印刷後、インキを熱風乾燥及び脱臭する乾燥脱臭装置



オフセット枚葉印刷は、1枚1枚の枚葉紙を使用するのに対し、オフセット輪転印刷は、巻き紙をセットします。輪転印刷は枚葉印刷より数倍の高速で連続的に印刷できるので、新聞や折り込みチラシなど短時間で大量の部数が必要な印刷に適しています。

■取組み内容

印刷乾燥機の断熱強化

印刷乾燥機の点検・整備

■評価

オフセット輪転印刷機は、給紙→印刷→乾燥→冷却→折加工が自動で行われ、その後は結束工程まで自動化されています。乾燥工程は乾燥装置と脱臭装置からなり、乾燥装置の真上に設置されている燃焼室で都市ガス(主成分:メタン)を燃焼させて作られる約150~300℃の熱風を上下のノズルから印刷物に直接当てて乾燥するようにしています。

省エネ対策として、乾燥機の空気比低減による燃料消費量削減は既に実施していますが、乾燥機の断熱強化はまだ実施できていないため、長期的な取組みの課題としていきます。印刷乾燥機の点検・整備は、日常的に実施出来ていますので継続していきます。

■次年度の取組み

印刷乾燥機の点検・整備のみ継続

【ガソリン使用量】

使用用途 : 営業車両 15台
配送車両他 6台

使用量目標 : 23,800L
実績 : 21,347L

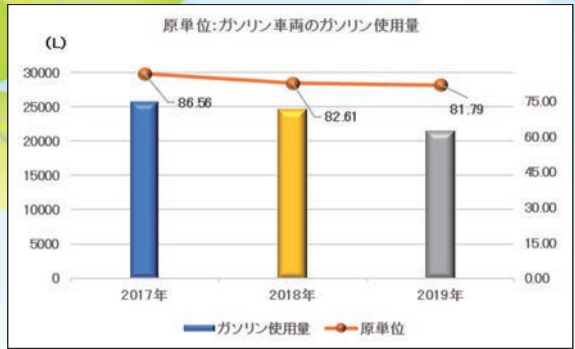
原単位目標 : 80.13
実績 : 81.79

【軽油使用量】

使用用途 : 配送車両 5台

使用量目標 : 11,473L
実績 : 10,675L

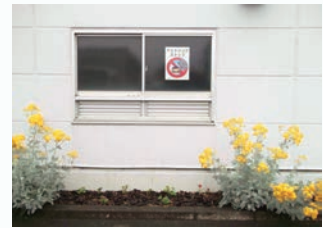
原単位目標 : 191.22
実績 : 177.91



車両使用者は走行距離と燃料使用量及び燃費を報告させている



乗車前、車両点検実施



構内 アイドリングストップ啓発表示

■ 取組み内容

エコカーへの転換
走行距離数と燃料使用量の自己申告実施
車両整備による燃費向上

エコドライブ10の実践
運転日報活用による効率運転実施
Web会議実施

■ 評価

営業リース車両の入替時にはエコカーへの転換を実施できましたが、リース車両以外のエコカー保持数の増加はありませんでした。運転日報には車両整備点検リストも追加され、日々の車両メンテナンスが実施されました。車両担当者による走行距離数と燃料使用量を元に燃費算出をして、自身のエコドライブ意識向上を高めてきました。Web会議は毎週月曜日に実施し、ガソリン及び軽油使用量共に目標を達成することができました。

■ 次年度の取組み

継続

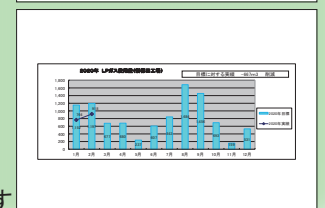
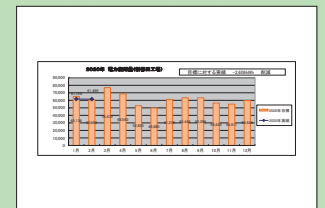
見える化

環境負荷物質使用量やコピー・出力紙使用量、走行距離数・給油量・エコドライブをまとめて毎月「環境活動通信」として発行しています

使用量や排出量は一目見てわかるよう、グラフ化して掲示しています



環境掲示板



グラフは目標値に対しての実績を載せています

2. 省資源



【上水使用量】

使用用途 : 印刷機湿し水
生活用水

使用量目標 : 2, 227m³
実績 : 2, 008m³

原単位目標 : 1. 09
実績 : 1. 06



湿し水循環装置と高性能
フィルターろ過装置



節水啓発表示



女子トイレには擬音装置を取り付け

■ 取組み内容

湿し水循環ろ過装置活用による湿し水交換回数の削減
手洗い時の節水啓発表示
雨水の有効利用

■ 評価

平版印刷機2台に湿し水循環ろ過装置を導入(2016年)して以来、湿し水交換回数が減ったことにより上水使用量が減少しています。丸塚営業本部に設置済みであった節水こまを新都田工場でも取り付け、更に上水使用量を削減しました。

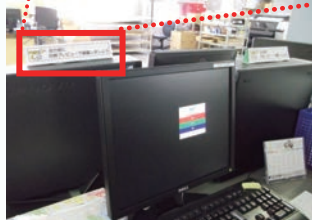
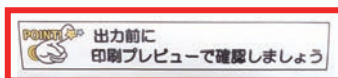
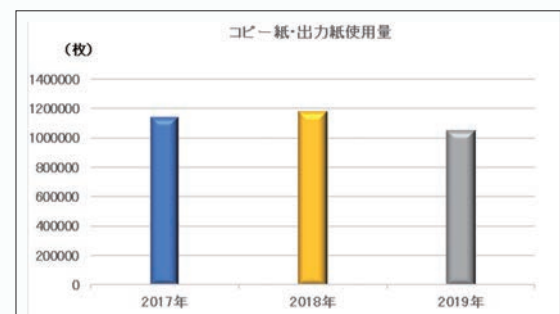
■ 次年度の取組み

継続

【紙使用量】

使用用途 : コピー紙、出力紙

使用量目標 : 1, 150, 586枚
実績 : 1, 047, 102枚



出力前にプレビュー確認表示



コピー紙、出力紙は印刷予備紙
の裏紙を利用



印刷工程では印刷用紙に加え、本刷り前の刷り出し損紙と印刷予備紙、加工工程で使用する加工予備紙が必要となる。この時の予備紙を最低数としているが、余った紙をコピー紙、出力紙に再利用している。

■ 取組み内容

2面付や縮小機能を活用したコピー・出力
ミスコピー防止のためコピー機使用後は設定リセット機能を活用

■ 評価

複合機機能のオートリセット機能に加え、設定変更をして使用を終了した場合は速やかにリセットボタンを押すことを推奨しています。また、毎月発行している「環境活動通信」のコピー・出力紙使用枚数欄を前月に加え前々月を明記したことにより、各部署ごとに使用量比較が明確になり削減意識が向上して使用量削減に繋がりました。

■ 次年度の取組み

継続

3. 製品への環境配慮



環境配慮型製品について説明します。

印刷資材を環境配慮した用紙やインキ・加工資材を使用して『環境ラベル』を付けた印刷製品を環境配慮型製品といたします。

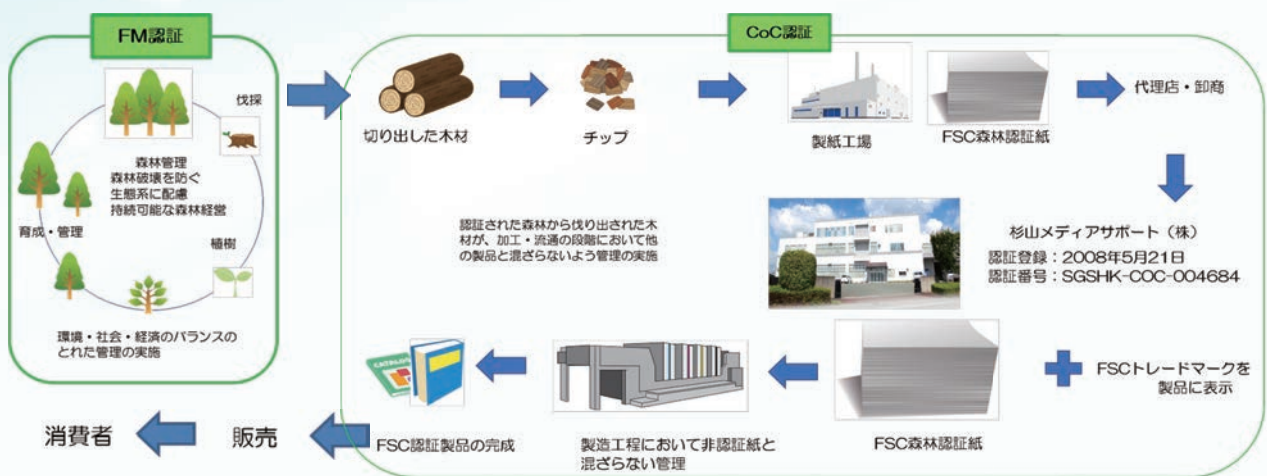
環境配慮型製品を発注していただいたお客さまは、環境保全としての企業活動を広く一般に伝えることができ、これがお客さまの環境への取組みが高く評価されることに繋がります。また、『環境ラベル』という新しい情報により、消費者が環境負荷の少ない製品を選ぶときの手助けになることが期待され、社会全般の環境保全活動に発展していくものと期待されています。

FSC®は木材を生産する森林(FM認証)と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証(CoC認証)する国際機関です。

- この認証は、1. 森林の環境保全に貢献している
- 2. 地域社会の利益にかなっている
- 3. 経済的にも継続可能な形で生産されている

これら3つの要件を満たす原料で製造された製品にFSCトレードマークを付けます。消費者がFSCトレードマークが入った製品を選択することで、世界の森林保全を間接的に応援できる仕組みです。

FSCトレードマークの付いた製品は、「適切に管理された森林」に由来する製品であると保証された環境配慮型製品となります。



【環境配慮型製品製造量】・【FSC認証製品受注件数】

対象製品 : FSC認証製品、
ふじのくに森の町内会「間伐材に
寄与する紙」を使用した印刷製品

製造量目標 : 7,965kg
実績 : 11,055kg

FSC認証製品受注件数目標: 30件
実績 : 31件



■取組み内容

FSC認証紙と「間伐材に寄与する紙」を使用した製造提案と推進
製品提案と推進のための販促ツール作成

■評価

再生紙が受注生産に変わり入手困難になり、官公庁でもFSC認証紙を使用するようになりました。また、東京都のグリーン製品基準にFSC認証製品が揚げられたことや、残念ながら延期となりました東京オリンピック2020でもFSC認証製品への関心度は高く評価されています。このような中、2018年に異業種交流会の場でFSCをPRできたことが、FSC認証製品製造と受注拡大に繋がりました。また、2017年10月よりふじのくに森の町内会が「間伐材に寄与する紙」にFSC認証紙を取り入れ、お客さまが自社のCSR活動の一環として利用していただけるようになったことも増加要因の一つです。このように、私たちも事業活動を通じて社会での環境保全に参加できることに重要性を感じるとともに、大変ありがたいことだと感じます。FSC認証製品受注件数は毎年確実に増加していますので、今後も受注拡大に向けた営業活動を強化していきます。

■次年度の取組み

継続

※ふじのくに森の町内会「間伐材に寄与する紙」については下記ホームページを参考にしてください。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-080/mori/kigyuu/fmori-cho/3kanbatu.html>

4. 環境汚染物質削減



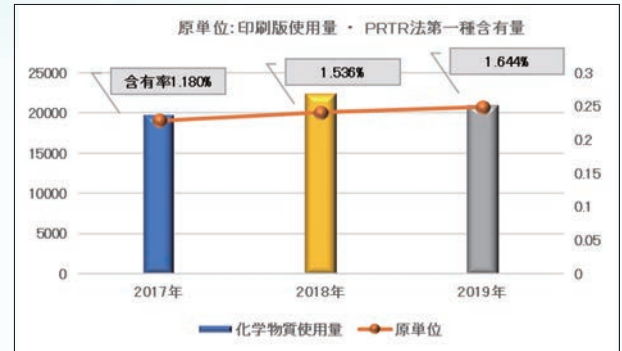
【化学物質使用量】・【PRTR法第一種含有率】

使用用途 : 湿し水H液、洗浄剤、現像液
補充液、ガム液、接着剤

使用量目標 : 21,849.04kg
実績 : 20,832.01kg

原単位目標 : 0.239
実績 : 0.249

PRTR法第一種含有率目標 : 1.178
実績 : 1.644



■取組み内容

化学物質使用時の周辺環境への配慮
健康障害防止のため安全性が高いものへの代替 サンプルとSDS取り寄せ
化学物質リスクアセスメント実施

■評価

化学物質使用量の使用量を把握することが困難なため、購入量集計をしています。原単位及びPRTR法の第一種含有率の増加要因は、洗浄剤を代替したが、旧洗浄剤と代替洗浄剤を二重購入していたことにあります。各現場所属長の管理不足と今後の購入量及び在庫管理を指導しました。周辺環境への配慮としては、工場内で決められているルールを守り実践していました。化学物質リスクアセスメントは十分に実施できました。

■次年度の取組み

継続
月ごとの化学物質使用量集計を早くして、集計結果をいち早く部署に報告
有機溶剤保管庫内の在庫確認実施(月末)

5. 循環型社会の形成

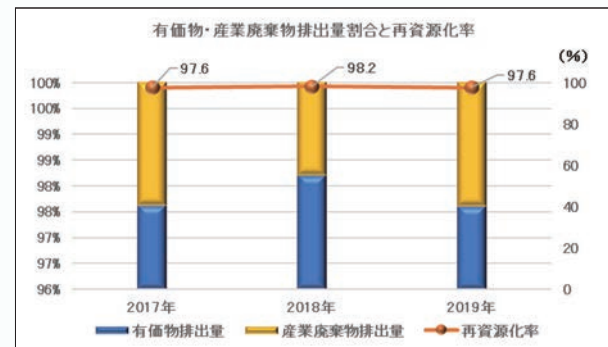


【廃棄物使用量】・【有価物排出量】・【再資源化率】

産業廃棄物 : 廃油、廃酸、廃強アルカリ
廃プラスチック類
有価物 : 紙くず、ダンボール、断裁くず
刷り出し用紙、廃棄製品、
廃プラスチック類
再資源化率 : 全排出量に対する有価物量

廃棄物排出量目標 : 1,175.94t 原単位目標 : 2.95
実績 : 994.56t 実績 : 3.04

有価物排出量目標 : 1,221.67t 再資源化率: 98.7%
実績 : 970.79t 実績 : 97.6%



■取組み内容

余剰製品をつくらないため最低製品数を製造
紙くずの細分別化
電子マニフェスト制度利用による処理状況の確認

廃棄物の分別徹底
産業廃棄物の委託基準と保管基準の遵守

■評価

印刷工程での色合わせ時の刷り出し用紙と製本加工工程での断裁くずや予備製品、余剰製品等の紙くずは有価物として排出します。取組みの内容としては、余剰製品を作らないため最低製品数を製造することに重点をおき、印刷用紙発注時の枚数削減と、印刷工程での刷り出し数の削減に加え、本刷り用紙を次の製本加工工程での最低必要枚数に抑えることを実施しました。しかしながら実績として原単位は増加してしまい、再資源化率も目標達成には至りませんでした。

取組みの途中で新たな取組みとして、印刷工程で削減した未使用用紙を、用紙購入会社に引き取りを依頼してコスト削減をしました。その他、分別した紙くずを更に雑紙と上古紙に細分別化して買取りしていただき、産業廃棄物排出費用を削減することが出来ました。

コスト削減金額 用紙返却金額 284,000円 産業廃棄物輩出金額(上古紙買取額) 463,000円

■次年度の取組み

継続

8. 活動報告

1. 環境活動

【環境目標】



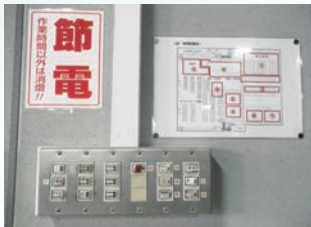
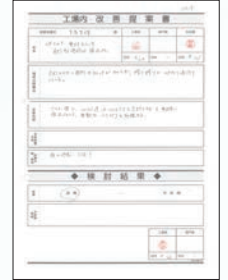
環境・認証		曾我 晴美
■環境実績・目標		
●環境負荷物質使用量削減 数値目標		
電気(kWh)	60期実績 1,927,517	61期目標 1,888,967
	目標: 59期実績の1%削減	前年比8.6%
丸塚営業本部	1,163,543	前年比9.0%
新都田工場	748,105	前年比8.4%

当社は期首始めとなる2月に会社方針発表を開催しています。この場で環境における前年度実績と今年度の環境目標を掲げ、具体的な取組み内容を提唱しています。

【改善提案書・自部署改善宣言書】



工場内における環境負荷物質使用量低減のため、自部署改善宣言及び改善提案制度を取り入れています。自部署での無駄を見直すと同時に、自部署では気づかない点を他部署目線で指摘し、「長年継続しているから」、「このように教えられたから」と決めつけている行動を改善することで、環境負荷物質使用量削減の効果が得られると期待しています。



工場内改善提案の採用により、蛍光灯スイッチ図が各階に掲示されました。特に、日常使用していないフロアの蛍光灯スイッチが一目でわからず、とりあえず全てのスイッチを入れてみる、などの無駄をなくし、電気使用量を削減するという取組みを実施しました。

【環境保全】



工場は特定施設を設置しているため工場敷地内の環境保全は基より、工場周辺住民の皆様の住みよい環境を維持するため、騒音・振動、悪臭、水質汚染、土壌汚染問題を発生させないよう、測定を実施しています。測定は自主測定と、法に基づき年1回実施し、結果は何れも規定数値を遵守しています。



自主測定: 排水口pH及び温度測定



自主測定: 敷地境界線騒音・振動測定



経年劣化したGHPエアコンを使用していたため、油漏れが発生し、土壌汚染と雨水路汚染が発生していましたが、高効率GHPエアコンに入替えたことで環境汚染を回避しました。2017年実施

毎月のチェックは「5Sパトロール」を実施

<2019年測定結果>

項目	基準値・点検箇所	測定・点検結果	判定
水質汚濁防止法及び下水道法	浜松市下水排除基準 水素イオン濃度(pH)/5を超え11未満 温度/45℃未満	自主測定: 毎日実施	基準適合
		測定士調査: 2019年3月16日 水素イオン濃度(pH) 7.0 20℃	基準適合
騒音 静岡県条例	第4種区域 ※敷地境界線から30m以内第1種区域有 昼間65dB 朝夕60dB 夜間55dB	自主測定: 2019年3月26日 昼間54~62dB	基準適合
		測定士調査: 2019年3月16日 昼間47~61dB 夕39~45dB 夜間38~44dB	基準適合
振動 静岡県条例	第2種区域の2 昼間70dB 夜間65dB	自主測定: 2019年3月26日 43~51dB	基準適合
		測定士調査: 2019年3月16日 昼間30~32dB 夜間30dB未満	基準適合
水質汚濁防止法	構造基準/有害物質使用特定施設定期点検 床面及び周囲、施設本体、地上配管等、 排水溝等	自主点検: 水素イオン濃度、温度測定毎日実施	異常なし
		定期点検: 2019年5月31日	異常なし
悪臭規制法	浜松市全域 第1規制 第4地域 臭気規制17	自主点検: 毎月末実施(5Sパトロール)	異常なし
		測定士調査: 2019年10月24日 臭気指数17	基準適合
土壌汚染対策法	ふっ素及びその化合物 溶出量基準/0.8mg/L以下 含有量基準/4,000mg/kg以下	自主点検: 毎月末実施(5Sパトロール)	異常なし
		測定士調査: 2018年3月16日 溶出量0.08mg/L 含有量100mg/kg未満	基準適合

※騒音・振動は工業専用地域にあるため県条例規制

【廃棄物削減】



廃棄物保管場所改修

産業廃棄物保管場所は、経年劣化により扉が閉まらなかつたり、床が抜け落ちそうになっていたため、2018年コンクリート敷シャッター施設可能な倉庫に改修しました。これにより、廃棄物保管基準の遵守と分別表示が明確になりました。水銀使用製品に当たる蛍光灯は、紙製廃インキ容器を再利用して保管基準である飛散と流出を完全に防止することができています。廃インキ缶類は廃棄袋に入れてはありましたが、雨ざらし日ざらし状態でVOC(揮発性有機化合物)の発生抑制は十分な状態ではありませんでした。このため、改修後の倉庫を専用の1棟倉庫とし、更にVOC発生抑制対策として、活性炭シートと荷台シートを活用しました。また、分別においても種類ごとにコンテナを分けて表示をしたことで、従業員の分別が正確なものとなり、分別の意識も高まりました。



VOC発生抑制のため活性炭シートと荷台シートを活用



紙製廃インキ容器を活用



産業廃棄物保管倉庫



廃インキ缶・廃溶剤缶保管場所



改修後



3連1棟と1棟を個別にした産業廃棄物保管倉庫
2018年7月完成

廃棄物の適正管理

当社は2013年6月より電子マニフェストシステムの利用を開始しました。そのため、このシステムを利用する収集運搬業者・処理業者を改めて選定し、2017年には全排出物に対し電子マニフェストシステムに切り替えることができました。

管理内容:

- ・電子マニフェスト交付
- ・契約書、許可証の管理
- ・処理状況の確認
- ・排出量の管理



処分業者実地確認(年1回)、優良認定処理業者は公開情報にて確認



静岡県「産廃3Rキャンペーン」参加

静岡県の「第3次静岡県循環型社会形成計画」に基づく、産業廃棄物最終処分率を2013年度基準の1.8%を2021年目標とする循環型社会の形成に向けた県民運動に2016年度から継続して参加しています。

前年度実績に対する削減目標と取組み内容を決定して提出、翌年その実績を報告するという取組みです。目標達成をすると県ホームページ及び新聞に掲載され、従業員の分別意識が益々高まり、産業廃棄物排出量削減に向けた取組みとなっています。このキャンペーンは2021年度まで実施されるため、継続して参加していきます。

【資源循環】



混ぜればごみ、分別すれば資源

生産工程や事務所で排出される廃棄物を分別して可能な限り再資源化を実施していますが、当社ではトイレトーパー芯や割り箸も分別して有価物として排出しています。割り箸は王子製紙(株)春日井工場様に送付して、粉碎機で細かくした後にチップと混ぜ、紙製品が作られます。

トイレトーパー芯リサイクル

活動開始: 2017年
累計排出量: 28.9kg

割り箸リサイクル

活動開始: 2017年
累計排出量: 21.0kg



割り箸だけで紙製品を作ったと仮定した場合の換算値は
割り箸10kg(約2,500膳)でボックスティッシュ15箱
割り箸3膳(6本)ではがき1枚、A4コピー用紙1枚



累計排出量における換算/ボックスティッシュ 31.5箱

【地域貢献】

- 3 すべての人に
健康と福祉を
- 4 質の高い教育を
みんなに
- 11 住み続けられる
まちづくりを

地域の皆様と共に

企業は社会の一員として、全てのステークホルダーと共に社会的責任の在り方を考え、よりよい生活環境へと変えていく必要があります。環境活動は会社内の活動に留まらず、地域活動など広域的な社会貢献活動を積極的に行うことが重要です。当社は2006年より、会社周辺のごみ拾い・清掃や草取りを開始し、浜松市内で実施される「グリーン作戦」への参加と活動範囲を広めてきました。また、地元からの交通事故撲滅のため、交通安全のぼり旗による街頭活動を月1回実施しています。その他には、AEDの設置やエコキャップ運動、地域祭典への協賛、メディアユニバーサルデザイン(MUD)普及活動を継続的に実施しています。



工場周辺歩道の草取り実施



静岡県「小さな親切」運動年2回参加



エコキャップ運動
活動開始: 2013年
累計排出個数 100,337個
ポリオワクチン支援 116人分
エコキャップ焼却時二酸化炭素発生抑制量 735kg-CO2



交通事故撲滅街頭活動
開始当社は春・秋の全国交通安全週間に実施していましたが、従業員の提案により毎月1回の活動となりました



全国AEDマップ登録に加え2019年浜松市AEDマップ制度に登録しました

2. 働き方改革

- 4 質の高い教育を
みんなに
- 5 ジェンダー平等を
実現しよう
- 8 働きがい
経済成長を
- 10 人や国の不平等を
なくそう

働きやすい職場づくり

これまで残業時間が多かった従業員の業務軽減のため、部署内での業務の補佐や部署の垣根を超えた業務支援を実施して残業時間の削減を実施しています。これにより、業務の平準化や従業員のスキルアップ、仕事のやり方を他目線から取り入れた業務の簡素化などに繋がっています。

年次有給休暇時間単位取得

これまでの取得は半日単位でしたが、1時間単位で年5日分の時間取得が可能となったことにより、有休取得が効率的に使用できるようになりました。

仕事と育児の両立支援

産前産後休業・育児休業を取得しやすいよう、各部署で該当従業員が長期間休んでも、仕事に支障をきたすことがない体制をつくっています。育児休業は男性・女性どちらでも取得可能であり、現在までの取得実績は10名になります。その他子育て支援として、時差出勤や時短勤務(子供が3歳になるまで)の制度を設けています。



3. 社員の心身の健康

- 3 すべての人に
健康と福祉を
- 5 ジェンダー平等を
実現しよう
- 8 働きがい
経済成長を

労働安全への取り組み

化学物質や機械等を使用する従業員の労働安全を確保するために、様々な規程や手順書を備え、有害物質の情報発信や始業前の点検を実施しています。従業員には定期健診やストレスチェックの実施、対象従業員には特定健診を受診させ、再検査の受診を推進しています。また、月1回発行している「総務通信」では健康管理情報を発信し、全従業員が健康で働ける職場を目指しています。

取り組み内容:

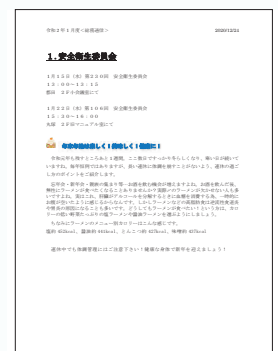
- ・化学物質リスクアセスメント
- ・作業前点検
- ・作業環境測定(有機溶剤、作業騒音)
- ・労働安全教育訓練
- ・VOC警報器活用による健康障害予防
- ・安全パトロール
- ・受動喫煙対策
- ・パワハラ・セクハラ相談窓口設置



作業環境測定



断裁機は(プレス機械又はシャワーの一種)に指定されています。入替を機に、メーカーによる作業前点検・作業手順・取扱注意事項の教育訓練を実施しました



総務通信

印刷協会と測定器メーカーが、共同開発したVOC警報器を印刷機に取り付けています。どの洗浄剤をどの程度使用した場合に警報が鳴るのか、警報が作動した場合の避難等を徹底しています。有機溶剤取扱者は年2回の特殊健診を受診して健康障害予防をしています



4. 経営活動

【品質向上】



「Japan Color 標準印刷認証」を取得

Japan Colorとは、印刷物の品質基準の指標とした日本のオフセット枚葉印刷における標準規格のことです。当社は、印刷品質の安定と維持・工場を継続的に実現するために、2015年12月、浜松市内の印刷会社で初めて認証を取得しました。

「色」を数値で管理することで印刷の標準化を実現。どの段階の機器からでも視覚的に確認できるカラーマネージメントシステムを採用しているため、「色の違いが主観でしか判断できない」、「印刷オペレーターによって色が異なる」、「印刷機によって品質が変わる」という、これまでの印刷の問題点を解決し、最新鋭の機械に加え、印刷オペレーターの厳しい眼と確かな手仕事で彩度調整を施すことで、お客様の思い通りの色や質感を表現しています。

お客様に期待される会社を目指して

企画提案から、デザイン・印刷・配送までトータルサポート。

当社は、印刷媒体やWebを含めた総合的な企画提案からデザイン制作、画像編集、印刷、在庫管理、配送まで、広告活動に関わる一連の業務を自社による一貫体制で行っています。窓口を一本化することで、お客様の貴重な時間のロスを防ぎ、より効率的に広告展開することが可能です。

【コスト削減】

印刷ロスを減らし、お客様へのコストダウンに努める

当社は総合印刷会社として多種多様な製品に対応できるよう、オフセット枚葉印刷機、オフセット輪転印刷機から、製本加工機、DM圧着機、封入封緘機など、あらゆる加工設備を完備して、自社一貫体制で生産することにより、コストを抑えています。

現在、オフセット枚葉印刷機3台には、カラー印刷品質検査装置を設置しています。高解像度カメラが、インキ飛び、ピンホール、油、パウダー汚れ、色抜け、紙折れなど、印刷時のさまざまなトラブルをいち早くチェックし、印刷ロスを防ぎます。印刷ロスを防ぐことにより、お客様へのコストダウンに繋がります。



品質検査装置



5. 緊急事態に備える

【災害への備え】

避難・消火訓練

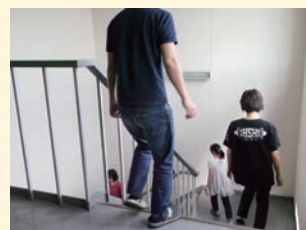
火災や地震の発生を想定し、従業員がいつでも落ち着いて行動ができるよう、年1回を目安に避難訓練を実施しています。繰り返し訓練を実施していることで、さまざまな問題も浮上し、その対処も実施しました。例えば、印刷現場では機械音により館内放送が聞こえないため、拡声器やハンドベルを使用するようになりました。また、当社の原材料は印刷用紙で可燃性が非常に高く、火災延焼を最小限に止めるため、従業員による初期消火訓練を実施しています。

廃油・廃液流出訓練

廃油（廃インキ）と廃液流出訓練を年1回実施して、手順書の有効性を確認しています。事故により廃油や廃液を流出させた場合の近隣への被害や環境への影響は多大であるため、日頃の注意と訓練が重要です。

防災備蓄品

大規模地震や災害に備え、飲料水と簡易トイレを常備しています。いつ起こるか予測できない東海大地震や、近年の地球温暖化が原因とされる台風被害に備えています。



避難指示館内放送後、避難開始



避難完了



訓練も真剣に取り組めます



5年ごとに浜松市消防隊員による消火指導を受けています



棚に並べられたインキ1kg缶の落下防止対策として、100円ショップの金網ネットを利用しました。金具を利用して開閉は自由にできます

6. 部署訪問 ～お邪魔します～

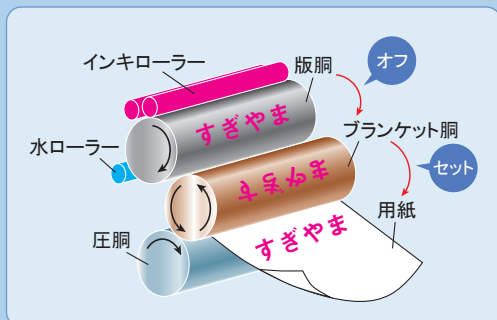


2月21日、新都田工場のオフセット課を尋ねました。

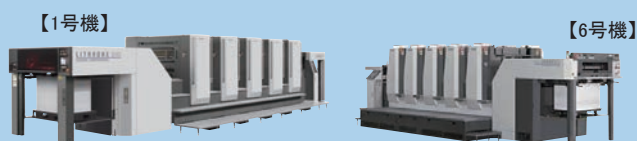
こんにちは。EA21事務局です。オフセット課について教えてください。
オフセット課では、どのような仕事をしていますか。



オフセット課は、オフセット平版印刷をしています。課員は男性ばかりの8名で5台の印刷機を操作しています。



オフセット印刷の仕組み



環境負荷物質使用量削減や環境配慮など、具体的な取組み内容を教えてください。

電気使用量削減として、印刷機の集約をしています。1日の印刷量を調整して、印刷機5台の内、最も電気使用量が多いと思われる8号機(両面4色機)の稼働を停止して、残る4台で印刷しています。
LPGガスエアコンは、3台中1台が故障中ということもあり、現在は2台のみ使用しています。エアコンは室内温度25℃・湿度50%に維持管理するため、必要不可欠なものです。
印刷時に使用するブロッキング(裏移り)防止パウダーや紙紛により、フィルタの目詰まりを起こしやすいため、清掃を実施する必要があるのですが、なかなかやりきれていないのが現状です。
水の使用量は、1号機と6号機に湿し水循環ろ過装置を導入してからは、湿し水交換回数が減り、水使用量も減少していると思います。

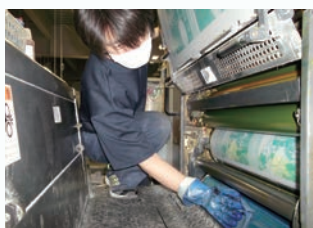
環境配慮としては、大気汚染と騒音防止のため窓は絶対に開けていません。インキと溶剤によるVOC発生抑制のため、使用途中の溶剤と廃ウエスは蓋をしっかりと閉めることを徹底しています。

2019年の化学物質使用量及びPRTR法第一種化学物質量が目標を達成できませんでしたが、2020年の削減に向けた取組みや対策などがありましたら教えてください。

在庫数を見直して、必要最低限の在庫数にしました。これを部署内ミーティングで周知し、意識付けをしました。現在使用している洗浄剤も、有害性や健康への安全性を考慮した物に変更していきたいのですが、洗浄効果と購入価格の折り合いがなかなか合わず、代替には至っていないため、今後もメーカーからサンプルを取り寄せて検討してまいります。

EA21事務局も購入量集計を月初早めを実施して、各部署に報告していきます。サンプルを取り寄せましたら、必ずSDSをメーカーから頂いて、こちらに提出してください。化学物質リスクアセスメントを実施して購入の許可判定をします。

本日はありがとうございました。引き続き、環境活動にご協力をお願いします。



溶剤使用時は、マスク・手袋を着用していました



有機溶剤保管内の在庫数は最低数に決められ、厳守されていました



廃ウエスBOXの蓋はしっかりと閉められて、VOC発生抑制対策がされていました

9. 2020年の取組み

環境経営目標項目			単位	2019年	2020年		
				実績	目標	環境経営計画	
低炭素社会の実行	二酸化炭素総排出量		kg-CO2	1,280,513	2%削減	1,280,513	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
			原単位	3.91	1%削減	3.91	
	省エネルギーの推進	電力使用量	kWh	1,929,481	2%削減	1,890,891	・未使用フロアの消灯、昼休みの消灯 ・こまめに消灯、空調機フィルター清掃 ・デマンド監視装置によるピークカット ・作業予定の組み方を工夫して生産効率を上げる
			原単位	5.90	1%削減	5.84	
		LPG使用量	m3	10,017	2%削減	9,817	・空調温度の適正設定(冷房27℃、暖房20℃) ・空調機フィルター清掃
			原単位	0.049	1%削減	0.048	
		都市ガス使用量	m3	133,335	2%削減	130,668	・印刷乾燥機の点検・整備
			原単位	1.08	1%削減	1.07	
		ガソリン使用量	L	21,347	2%削減	20,920	・エコカーへの転換 ・エコドライブ10の実践 ・走行距離数と燃料使用量の自己申告実施
	原単位		81.79	1%削減	80.97		
軽油使用量	L	10,675	2%削減	10,462	・運転日報活用による効率運転実施 ・車両整備による燃費向上 ・Web会議(毎週月曜日)実施		
	原単位	177.91	1%削減	176.13			
省資源	有効資源の利用	上水使用量	m3	2,008	1%削減	1,988	・湿し水循環ろ過装置活用による湿し水交換回数 の削減 ・手洗い時の節水啓発表示 ・雨水の有効利用
			原単位	1.06	1%削減	1.05	
		紙使用量	枚	1,047,102	2%削減	1,026,160	・2面付や縮小機能を活用したコピー・出力 ・ミスコピー防止のためコピー機使用後は設定リ セット機能を活用
環境配慮	サードパーティの推進	環境配慮型製品製造量	kg	11,055	8%増加	11,939	・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」 を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールを作成
		FSC認証製品受注件数	件	31	3%増加	32	
環境汚染削減	適化学物質	化学物質使用量	kg	20,832.01	3%削減	20,207.05	・化学物質使用時の周辺環境への配慮 ・健康障害防止のため安全性が高い物への代替 サンプルとSDS取り寄せ ・化学物質リスクアセスメント実施 ・月ごとの化学物質使用量集計を早くして、集計結 果をいち早く部署に報告 ・有機溶剤保管庫内の在庫確認実施(月末)
			原単位	0.249	1%削減	0.247	
		総使用量に対するPRTR法第一種含有率	%	1.644	1%削減	1.628	
循環型社会の形成	リサイクルの推進	廃棄物排出量	t	994.56	2%削減	974.67	・余剰製品を作らないため最低製品数を製造 印刷用紙発注時の枚数削減 ・廃棄物の分別徹底 ・紙くずの細分別化 ・産業廃棄物の委託基準と保管基準の遵守 ・電子マニフェスト制度利用による処理状況の確認
			原単位	3.04	1%削減	3.01	
		有価物排出量	t	970.79	1%増加	980.50	
		再資源化率	%	97.6	0.3向上	97.9	

従業員の取組み項目			2019年	2020年	
			実績	目標	取組み内容
地域活動・社会貢献活動	美化活動	会社周辺清掃活動	13回実施	12回	・会社周辺ごみ拾い ・歩道の草取り
		地域清掃活動	3回参加 参加者16名	3回	・静岡県「小さな親切」運動清掃活動参加 ・浜松河川国道事務所「クリーン作戦」参加
	地域交通安全活動	交通安全啓発活動	春・秋全国交通安全週間参加 浜松市交通事故撲滅街頭指導 参加	12回	・会社周辺交差点での交通安全のぼり旗による事故撲滅活動
		エコキャップ回収運動	11.7人分ポリオワクチン 73.9kg-CO2削減	年間	・リサイクル活動 ・ポリオワクチン支援 ・焼却による二酸化炭素排出量削減
	リサイクル環境保護	割り箸リサイクル活動	7.5kg回収	年間	・リサイクル活動
		トイレトーパー芯リサイクル活動	9.0kg回収	年間	・リサイクル活動

第61期 会社スローガン

日々改善 日々実践
心をこめたモノづくり



10. 環境関連法規制等の遵守状況

遵守評価: ◎遵守できている ○一部遵守できていない ×遵守不十分・遵守できていない ※対象法規を一部省略

法令・条例		要求事項	該当施設・該当項目等	義務	遵守	届出日	評価判断基準・測定日等
静岡県環境基本条例	第6条	公害の防止、自然環境保全、廃棄物適正処理	事業者の責務	遵守	◎		
浜松市環境基本条例	第3条	公害の防止、環境負荷への低減	事業者の責務	遵守	◎		
静岡県生活環境保全条例	第3条	環境マネジメントシステムを導入し、環境への負荷の低減	事業者の責務	遵守	◎		
	騒音規制	第52条	特定施設規制基準 基準値：第4種区域	遵守	◎	2回/年 自主測定	3月26日、10月24日・30日基準適合
騒音規制	第53条	特定施設の届出	空気圧縮機、印刷機械、冷凍機	届出	◎	2019年10月10日	
	第79条	特定施設規制基準 基準値：第2種区域の2		遵守	◎	2回/年 自主測定	3月26日、10月24日・30日基準適合
振動規制	第80条	特定施設の届出	圧縮機、印刷機械	届出	◎	2019年10月10日	
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	廃棄物の適正処理、廃棄物の減量	事業者の責務	遵守	◎	減量目標達成
浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第12条	委託基準	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	遵守	◎		委託契約業者へ排出
		保管基準	表示、飛散・浸透防止	遵守	◎		問題なし
		処理基準	収集運搬・処分業者委託契約	遵守	◎		許可証期限切れなし
		実地確認	優良認定事業者は処理状況の確認	記録	◎		7月5日、11月10日、11月11日
		管理責任者の届出	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	届出	◎	2017年8月1日	変更なし
		管理票交付、保管	電子マニフェスト制度利用	記録	◎		6月16日マニフェスト状況一覧確認
		管理票交付等状況報告書	電子マニフェスト制度利用	報告	◎	2019年4月27日	2019/7/2修正報告
水質汚濁防止法	第5条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設(現像機)	届出	◎	2018年5月31日	変更なし
		有害物質使用特定施設	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	届出	◎	2018年5月31日	変更なし
	第12条	構造基準	定期目視点	記録	◎		5月31日異常なし
	第14条	排出規制措置、排出状況把握、汚濁防止措置		遵守	◎		「廃液漏洩確認記録簿」確認
下水道法	第12条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設(現像機)	届出	◎	2018年6月22日	変更なし
		特定事業場排除制限	基準値：pH5を超え11未満	遵守	◎		「計量証明書」確認
		水質測定と記録	pH・温度 1回/日	記録	◎		「排水pH測定記録簿」確認
土壌汚染対策法	第4条	土地の形質の変更届出	3,000㎡以上の土地	届出	◎		変更なし
大気汚染防止法	第17条	VOC発生抑制	事業者の責務	遵守	◎		
悪臭防止法	第7条	規制基準 1・2・3号基準	対象：全ての工場、事業場 規制地域：浜松市内全域	遵守	◎	自主測定	10月24日基準適合
フロン排出抑制法	第5条	使用するフロン類の適正管理	第一種特定製品：業務用空調機器、テラ一等	遵守	◎		◎
	第16条	管理者判断基準	機器の適切な設置、適正使用環境の維持・確保	遵守	◎		◎
		機器の整備委託と記録保管	簡易点検 1回/3ヶ月 定期点検 1回/3年 対象：7.55kW以上50kW未満の機器	記録	◎		3月29日、6月28日、9月30日、12月27日 2018年2月27日異常なし
	第19条	算定漏えい量報告	1年度内1,000t-CO2以上	報告	◎		規定量以下
化管法	第4条	第一種及び第二種指定化学物質の使用と管理	事業者の責務	遵守	◎		
	第5条	第一種指定化学物質取扱量の把握	年間1t以上	報告	◎		規定量以下

【遵守状況評価結果並びに違反、訴訟等の有無】

遵守評価結果：「環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表」で確認した結果、問題がないことを確認しました。

違反、訴訟：地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。



騒音・振動調査

騒音・振動調査を実施したところ、フォークリフトバック音と爪揺れ音が高いことがわかり、騒音環境教育訓練を実施しました。

バック音は後方者のための安全対策としての機能であるため、消音や音量を下げることはできませんが、爪揺れは運転者が注意することで回避できることを認識しました。



特定施設排水調査



臭気調査



フロン簡易点検



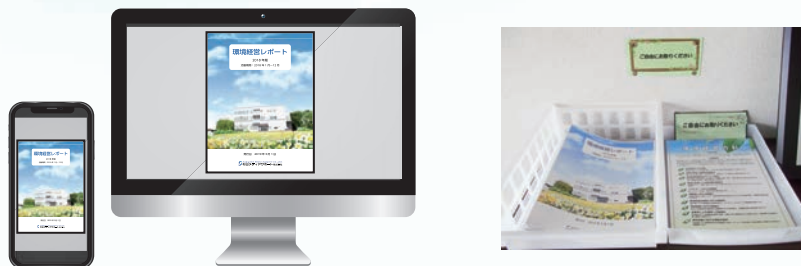
11. 内部・外部コミュニケーション

【内部コミュニケーション】



毎月1回ではありますが、環境情報を「環境だより」として発行しています。環境負荷物質削減や省エネへのお願い、目標値に対する実績状況、クリーン作戦参加報告等、さまざまな情報を発信しています。

【外部コミュニケーション】



「環境経営レポート」はエコアクション21中央事務局及び当社のホームページに掲載しています。来客にも気軽にご覧いただけるよう、常に玄関フロアに掲示しています。また、ご覧いただきましたレポートの感想も受け付けるアンケート用紙も添付しています。

また、近隣住民の方々には、当社で実施している周辺清掃や交通安全街頭活動についてのアンケートにもご協力をいただいています。このアンケート結果を真摯に受け止め、環境活動に生かしています。

2019年 外部コミュニケーション記録
10月 浜松市環境部 騒音・振動関係特定施設届出に対する指導を受けました。

12. 取組みの成果



浜松市企業のCSR活動表彰

2019年度 ローカル部門に入賞しました

浜松市の「企業のCSR活動表彰」とは、浜松市の市民、市民活動団体、事業者及び市が社会を支えることに関心を持ち、行動を起こすという、多様な主体によるまちづくりの実現と、企業による社会貢献活動を広げていくことを目的に、2016年に創設されたCSR活動（企業の社会貢献活動）を積極的に取り組む企業を表彰する制度



印刷産業環境優良工場表彰

- 2011年 第10回 「日本印刷産業連合会奨励賞」受賞
- 2014年 第13回 「日本印刷産業連合会特別賞」受賞
- 2015年 第14回 「日本印刷産業連合会会長賞」受賞
- 2016年 第15回 「経済産業省商務情報政策局長賞」受賞

一般社団法人日本印刷産業連合会が、印刷産業界における各企業の環境問題に対する取組みを促進するとともに、印刷工場の環境改善及び印刷企業に対する社会の一層の支持・理解を獲得することを目的に、2002年度から始まった表彰制度



ふじのくにエコチャレンジ表彰

- 2012年 「CSR・エコオフィス部門優秀賞」受賞
- 2017年 「TRY・事業所部門審査員特別賞」受賞

2011年3月に策定された「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」における温室効果ガスの削減目標達成のための具体的な施策のひとつとして2011年度からスタートした温暖化防止のための県民運動



13. 代表者による全体評価と見直し・指示

本年度より、本業の一環として社会課題解決に取り組む必要があると考え、SDGsを取り入れてみました。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットを、環境経営と結び付けたところ、13のゴールが見えてきました。低炭素社会や省資源、環境汚染防止、循環型社会の形成といった当社の環境経営目標とSDGsを融合させ、目標達成に向けた取組みとなりました。

当社の経営方針である「基本に忠実、必ず実行」を基に、全社員の意識改革による目標達成を目指し、環境経営を繰り返し続けていくことが重要だと考えています。

目標を達成出来なかった項目に対し、次年度の取組み内容の追加を確認しました。一年を通し結果を見るのではなく、途中の見直しは大変重要であるため、必ず実施してください。

また、本年は「浜松市CSR活動表彰制度」に入賞することができました。企業は地域の皆様と共に歩み、愛されることが事業継続に繋がるため、周辺環境保全も継続的に実施していく必要があります。

代表取締役 大高 明

取組事項	変更・指示	変更・指示内容 / アドバイス
環境経営方針	■変更なし □変更あり	—
環境経営目標	■変更なし □変更あり	引き続き、無理のない削減値で設定してください
環境管理体制	■変更なし □変更あり	—
教育・訓練の実施	■変更なし □変更あり	—
緊急事態への準備	■変更なし □変更あり	—
環境関連法規等	■変更なし □変更あり	—
地域活動・社会貢献	■変更なし □変更あり	地域活動は休日参加になる場合がありますが、怪我等ないよう気をつけて参加してください

【編集後記】

「環境経営レポート2019年版」を最後までお読みいただきましてありがとうございました。

今回のレポートは、ご覧いただける皆様に当社の取組み内容を知っていただけるよう、活動内容を多く掲載しました。分かり易く、一目で理解できる掲載とは言えませんが、事務局なりに工夫して紹介させていただきました。

また、当社で実施している環境活動は、この地球上では豆粒ほどのささやかな活動にすぎないかもしれませんが、しかし、この活動が顕著ある賞に結びついていることを誇りに思い、このような評価をいただけることを、従業員一同、今後の活動の糧にして、今後も少しずつ、一歩ずつではありますが、前進していきたいと思っております。

昨年の「環境経営レポート2018年版」を、3年ぶりに環境コミュニケーション大賞に応募してみました。結果は、残念ながら入賞には至りませんでしたが、これを機に継続的に応募をしていきたいため、このレポートをお読みになった皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

従業員の皆様のご協力により、レポートを完成させることができましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。

エコアクション21事務局



私たちの誓い



エコアクション21

2004年11月26日認証登録

持続可能な社会のために環境への取組みを行います



GREEN PRINTING JPFI
F-B10044
新都田工場

2007年10月5日認定登録

環境に配慮した印刷製品をご提供します



責任ある森林管理
のマーク

2008年5月21日認証登録

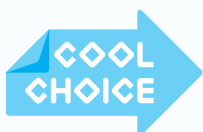
「森を守るマーク」 FSC®認証製品づくりをお手伝いします



P-00050

2015年9月28日認定登録

安全で信頼のおける製品とサービスをご提供します



未来のために、いま選ぼう。

2016年8月29日賛同登録

地球温暖化対策に努めるため「COOL CHOICE」に賛同します

杉山メディアサポート株式会社


代表取締役 大高 明
環境管理責任者 清水 亨

〒431-2103

静岡県浜松市北区新都田一丁目10番2号

TEL 053-484-1171

FAX 053-484-1170

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

この印刷物の資材は全てリサイクル対応型資材を使い、環境に配慮した
グリーンプリンティング認定工場印刷しています